

大峽製靴 株式会社



代表者取締役社長
大峽 廣男

東京都
足立区千住4-2-2

1935年(昭和10年)設立
TEL 03-3881-1191

<http://www.ohbacorp.com/>

手縫いと素材にこだわった職人技の革製品

昭和10年創業以来、靴作りに携わること70余年。皇室御用達の薬箱、ランドセルに職人の匠が生きる。

職人技へのこだわり

戦前から高品質の商品を製造していた靴メーカー。手で作られた製品と機械で作られた製品の違いがユーザーに明確に伝わる同社の手作りの技術は専門家に定評がある。世界中から超一級材料を仕入れするほど素材にこだわり、この道50年の職人を大切にして技能を伝承する企業姿勢が、本物を求めるユーザーに応える製品を生み出している。長期にわたり変わらないものづくりの姿勢が評価され、文部大臣賞連続、7回をはじめ通産大臣賞、経済産業大臣賞、東京都知事賞等数々の受賞歴あり。

皇室御用達のランドセル

学習院初等科指定のオオバランドセルは皇室御用達の逸品。量産品にみられる機械縫製と異なり、「目打ち」と「菱きり」と呼ばれる道具を使って重要な部分を手仕事で仕立てており、このハンドワークに拠る技術が仕上がりの美しさや頑丈な強度をランドセルにもたらししている。



イタリア、サンタクローチェの革で作った総手縫いアタッシュケース

皇室から各界の著名人まで。こだわりの達人に賞賛され、愛され続けるには理由がある。

昭和10年の創業以来、大峽製靴は素材選びからその工程に至るまで、量産では決して真似のできない手仕事による靴づくりにこだわり続けてきました。その結果、世界的評価を受ける老舗ブランドとして多くの人々に愛されるまでとなりました。革製品の本来フランスで活躍するファッションデザイナーをはじめ、各界の著名人からもたくさんの賞賛を受け、その品質の高さはテレビや雑誌などのマスコミで取り上げられたり、代々皇室の薬箱の製造をまかせられるなど、様々な実績によっても証明されています。



国際商標登録された「大峽製」マーク